



2024年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社 千趣会
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 梶原 健司
(コード番号:8165、東証スタンダード)
問合せ先 常務執行役員 コーポレート本部長 高橋 哲也
(TEL 06-6881-3220)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向をふまえ、2024年2月13日に公表いたしました2024年12月期の業績予想を下記のとおり修正することについて、本日2024年11月11日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正(2024年1月1日~2024年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 51,000	百万円 △1,900	百万円 △1,900	百万円 △1,800	円 銭 △38.47
今回修正予想(B)	43,700	△4,800	△4,800	△4,500	△96.20
増減額(B-A)	△7,300	△2,900	△2,900	△2,700	
増減率(%)	△11.2%	—	—	—	
(参考)前期連結実績 (2023年12月期)	49,226	△5,557	△5,679	△4,782	△102.19

(2) 修正の理由

主力の通信販売事業において、カタログ配布戦略の見直し、LINE・SNS を活用した販促等、顧客接点再構築の取組みを行い、改善はあったものの、期待通りの効果を得られず、また記録的猛暑が続くなど平年より気温が高い日が多く、季節商材を中心に受注が計画を大きく下回りました。加えて、在庫消化促進のためのセールも増加したことで売上総利益額が減少した結果、注文獲得費の効率化、固定費の削減等に努めたものの、連結営業損失、連結経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失についても、通期の業績予想は前回予想を下回る見込みです。

2024 年度は赤字幅が拡大する業績予想となりますが、現在取組みを進めている「通信販売事業の事業構造改革」、「全社における収益改善の実行」及び「共創の深化・拡大」の戦略骨子の元、各施策を実行し、早期の黒字転換を実現し、ステークホルダーの皆様の期待に応えられる企業となれるよう努めてまいります。

(注)上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上